

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」北長岡校		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に応じた支援を行っている。	個別だからこそそのその子に寄り添った支援内容を柔軟に取り入れることが出来る。 必要に応じて職員内でカンファレンスを実施し、職員間の共有を行っています。職員一体となり、お子様によりよい療育ができるように提供しています。	課題に応じて苦手な分野には段階的に取り組むように環境を整え、焦らず進めます。必要があればきらり法人内の専門職へ相談し助言を得て支援に取り入れていきます。
2	保護者様のお話を傾聴し受容、相談支援を積極的に行っている。	日頃の療育時間や子育てサポート加算や家族支援を取り入れて、各ご家庭に合わせた相談支援を行っています。 支援後にフィードバックを毎回行っている為、保護者様も相談しやすい環境を作ることが出来ています。	お子様のご成長の様子を共有し、お子様に必要な取り組みや成功体験をご提供していけるよう努めています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様より送迎をしていただく必要がある。 預かり型では無い為、利用時間が短い。	片道30分以上かけて来所される方が送迎に少し負担を感じているという声をいただきました。	質の高い支援と保護者様に寄り添った相談援助を行い、利用価値を見出していただくよう教室全体で取り組んで参ります。
2	環境整備について	降雪時地面が砂利の為、綺麗に除雪することが出来ていません。 道路に砂利が飛び散ることや雪のやり場が無いことが問題となっています。	季節に合わせて環境構成を工夫していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」北長岡校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

48

回収数

43

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	3	0	0		・限られた空間を有効活用できるように 場面や活動内容に合わせて環境を整えて いきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	43	0	0	0		・コンプライアンスに則り、必要人員を 今後も継続して配置していきます
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	7	0	1		・限られたスペースの中で行える支援の 工夫や環境を整えることで安全かつ活動 に集中して取り組めるように配慮いたし ます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	0	0	0		・感染症予防の点からも考え、今後も消 掃および消毒を継続して行っていきま す。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	0	0	0		・お子さまの得意不得意を考慮して、ひ どり一人に合わせた支援プログラムを提 供いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	0	0	0		・今後もひとり一人のペースに寄り添う ことを大切に丁寧な支援を進めさせて いただきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	0	0	0		・お子さまと保護者の皆さまのニーズを しっかり聞き取り、満足いただける支援 計画を今後も作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	1	0	0		・ガイドラインに則り、お子さまの支援 に限らず、ご家族の方も含めた支援計 画を今後も作成していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	0	1	0		・支援計画に沿った支援を行うととも に、必要に応じてご様子に合った支援プ ログラムを提供していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	2	1	1		必要に応じてご様子に合った支援プ ログラムを提供していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	15	15	2		・通所していただいているお子さまの特 性から初めてのお子さまとの関わりが難 しいため、現状機会がありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	0	0	0		・契約時に保護者の皆さまへ書面を見て いただきながらご説明しており、今後も 丁寧な対応を心掛けてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	0	0	0		・契約時に保護者の皆さまへ書面を見て いただきながらご説明しており、今後も 丁寧な対応を心掛けてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	11	5	2		・ペアレントトレーニングは現在行えて おりませんが、今後検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	43	0	0	0		・今後も保護者の皆さまと密に連携を図 り、お子さまの発達段階について共有さ せていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	5	0	1		・必要時には保護者の皆さまのご希望に 応じて、個別で面談を実施してしま す。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	2	0	0	寄り添ってもらえてありがとうございます	引き続きご利用者様に寄り添った支援を 心掛けていきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	12	4	15		・きらりカフェを中心とした保護者同士 の交流の機会を設けております。今後は ニーズに応じて、より幅広い機会を設け ていけるよう体制を整えていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	2	0	4	・保護者の皆さまからいただいたご相談や申し入れに対し、迅速かつ丁寧に対応しております。今後も保護者の皆さまに寄り添った対応を心掛けていきます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1	0	0	・今後も保護者の皆さまと密に連携を図り、お子さまの発達段階について共有させていただきまます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	5	0	7	・事業所の自己評価は毎年実施し、HPに揭示しております。また、イベントや活動の様子はInstagramやブログ等の媒体で掲載しています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	3	0	12	・鍵付きキャビネットで厳重に保管しております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	5	0	19	・マニュアルは保護者の皆さまへ周知が徹底されておりませんが、各災害発生を想定した訓練を実施しています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	5	0	11	・毎月、火災や地震、水害、不審者対応などの避難訓練を実施しています。避難場所までの避難ルートを確認するための訓練にはお子さまが参加する機会もございます。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	5	0	10	・現状、お子さまに大きな怪我や事故はありませんが、今後も危険意識をもって安全の確保に努めていきます。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39	2	0	2	・事故等が発生した際には、保護者さまへ状況の説明と今後の対応についてお話をさせていただきます。また、ヒヤリハット報告書を作成し、全職員が共有しお子さまの安全を確保できるよう配慮しています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43	0	0	0	・とても嬉しそうに通所しています。 ・どんな先生（資格）が在籍しているか写真等を使って一覧にして掲示や新年度に紹介等もう少し分かりやすくして欲しい。 ・相談をした際に相談内容に添った専門知識をもつ支援員へ繋げて欲しい。	貴重なご意見をありがとうございます。いただいたご意見を事業所内で共有し改善に向けて取り組んで参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	42	1	0	0	・子供も安心して通えているので継続的にお願ひしたいです。 ・今までは、他の場所だと行きたくないと言ってそのまま行けなことが多かったけど、継続して通うことができていたのでありがたいです。	引き続き楽しみながら成長に繋がる療育を取り入れていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	0	0	0	・親の話しも共感しながら聞いて下さっているのが伝わってきて親子共にほっとできる場所だと感じています。 子供のことを理解した上で接して、かつやる気を出させる(やる気を高める)先生方に感謝でいっぱいです。	ごちこそ、普段からご利用いただきありがとうございます。引き続きご利用者様のお力になれるように尽力して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」北長岡校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	個別のケースに応じた支援スペースの確保に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令が必要とされる人数以上を配置しています。	今後も利用定員やお子さまの状況に合わせて体制を整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化はされていませんが、お子さまの特性に合わせて対応しています。	今後も状況に合わせて適切な配慮を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お子様の特性に合わせて対応しています。	今後も清潔な環境を保てるよう生活空間を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様に合わせて個別の部屋を使用しています。	個別のケースに応じた支援スペースの確保に努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の支援の振り返りや情報共有を行っております。	今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を元に教室内でミーティングを行い改善に努めております。	今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		管理者と職員との1on1ミーティングを行い職員一人一人の意見を把握する機会を設けています。	今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価について今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		入社後は1か月の初任者研修を実施し、その後も全ての指導員を対象に継続的な研修を行っております。	今後も継続して職員の資質向上に繋げていきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		支援プログラム公表に向け、現在体制を整えるとともに準備を進めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者の皆さまのご要望等を踏まえた個別支援計画の作成を今後も行っていきます。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		教室内の意見を踏まえた個別支援計画の作成を今後も行っていきます。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援の振り返りを都度行い、次の支援に活かせるよう情報共有を行っております。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者の皆さまへの聞き取りと併せて、発達検査の詳細等も参考にアセスメントを行っております。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援に必要な項目を適切に設定し具体的な支援内容を設定しております。	お子さまひとり一人の現状に合わせた個別支援計画書を作成し、より具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援の振り返りを都度行い、次の支援に活かせるよう情報共有を行っております。	今後も職員一同で細かな情報共有を行い、活動プログラムを立案していきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		事業所で情報共有・プログラム立案を行い、お子さまの状況に合わせて支援を行っております。	お子さまの現状に合わせたプログラムを提供していただけるように、保護者の皆さまに対して支援時のフィードバックを丁寧に行ってまいります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援が中心ですが、小集団での活動も企画し、多面的にお子さまの成長につながるよう支援をしております。	今後もニーズに合わせて継続的に小集団イベントを計画、実施してまいります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		職員間での情報共有を徹底して行っています。	毎回行っていないが定期的に情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○			毎回行っていないが定期的に情報共有を行っています。	今後も支援の打ち合わせを丁寧にしながら必要な支援を連携して行ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			毎回支援記録を取り、見直すことでお子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせて、支援内容や方法を情報共有しています。	今後も継続して業務改善に繋げてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			担当相談員と定期的にモニタリング等を行うことで情報共有を図り、判断しています。	定期的に保護者の皆さまとお子さまの姿について情報共有を行い、個別支援計画書の適切な見直しを行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			基本的な活動を複数組み合わせ支援を実施しています。	今後もガイドラインに則り支援を行ってまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			視覚的支援を用いて具体的な選択肢を提示しています。	お子さまひとり一人が自己決定できる場を在れるよう配慮しながら支援を行ってまいります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			支援に携わっている指導員もしくは児童発達支援管理責任者が会議に参加しています。	今後もお子さまの状況をよく理解している者が参画してまいります。会議前にはお子さまの様子について事業所内で支援会議を行います
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			保護者の皆さまや園の先生、保健師等のご要望にお応えし、情報共有を行っています。	必要が生じた場合にすぐ対応ができるよう、体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			必要があれば情報共有できる体制を整えています。	学校とスムーズな情報連携を図ることができるよう今後も丁寧な情報共有を行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			保護者の皆さまや園の先生、保健師等のご要望にお応えし、情報共有を行っています。	必要に応じて各関係機関との情報共有を行ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			必要があれば情報共有できる体制を整えています。	必要に応じて各関係機関との情報共有を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要があれば情報共有できる体制を整えています。	専門的な機関からご助言をいただき、情報を正しくアップデートする中で、お子さまや保護者の皆さまへ適切な支援を提供してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○			地域交流については、限られた支援時間の中で実施が難しいことから実施はしておりません。個々のお子さまの状態に応じて必要があれば支援計画に位置付けたくうえで実施いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○			開催のお知らせがあれば積極的に参加してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				支援終了後に保護者の皆さまとフィードバックの時間を設けています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。	支援後のフィードバック時に家庭での対応方法等についてアドバイスしています。また、職員がペアレントトレーニングの知識を習得できるよう研修を行ってまいります。

保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程、利用者負担等について契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を設置しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時にご説明するとともに毎回の支援終了後にフィードバックの時間を設けています。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご利用者様のご要望にお応えし情報共有を行っております。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリング内容を元に原案を作成し同意を得て個別支援計画を作成しています。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援終了後に保護者の皆さまとフィードバックの時間を設けています。	今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		きりりカフェや講話会など定期的な開催できるよう準備してまいります。	今後も定期的に開催できるように体制を整えていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所内で受付者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えるとともに専用の電話窓口を設置しています。いただいた苦情に対しては社内フローを定め、迅速かつ適切に対応いたします。	いただいた苦情に関しては、社内フローを定め、迅速かつ適切に対応していきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		教室掲示やブログ・インスタグラム等で活動内容やイベントの開催をご案内しております。	今後も事業所内でのイベントや活動内容について、保護者の皆さまへ継続的に発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなどして適切に対応しております。	今後も細心の注意を払い、個人情報の取り扱いに配慮していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さまや保護者の皆さまの状態に応じて、資格情報などを活用して意思疎通・情報伝達を行っております。	お子さま、保護者の皆さまが分かりやすいように配慮ある対応を行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今後より地域住民の方と関わることが出来る企画を考えていきたいと思っております。	教室によっては支援の様子を公開したり、教室解放の時間を設けたりしています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、研修訓練を実施しています。	今後もマニュアルを基にさまざまな場面を想定した訓練を行い、有事の際には全体で動けるよう努めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し研修訓練を実施しています。	災害発生を想定した訓練を行い、有事の際に全体で動けるよう努めていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメント時に聞き取り、情報共有を行っております。	お子さまの身体的情報については必要時に保護者の皆さまと情報を共有させていただき、服薬の情報についても変更がある都度、確認をさせていただいています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供はありませんが、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触がないよう留意しております。	必要時はアレルギーの有無や健康状態の情報共有をさせていただいています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し研修訓練を実施しています。	さまざまな場面を想定し、お子さまの安全を第一に考え支援を行っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に周知、確認をいただいています。	災害時用の持ち出し避難リュックとともに緊急連絡先情報もすぐに持ち出しができるように設置、保管しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	お子さまと保護者の皆さまが安心してお過ごしいただけるように、必要時にはヒヤリハットを作成し、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止をする為職員の研修を実施しています。	お子さまと保護者の皆さまが安心してお過ごしいただけるように、必要な研修に参加し適切な対応ができるよう努めていきます。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者の皆さまには、契約時に丁寧にご説明し、個別支援計画にも記載します。	保護者の皆さまには契約時に丁寧に説明し、個別支援計画書の特記事項にも記載していきます。
----	--	---	---	---